


アイデアの系譜学②



若澤佑典文学部准教授
(日吉・英語)

<進撃だけが人生ではないよ…>

『逃亡者』や『逃げるは恥だが役に立つ』、最近では『逃げ上手の若君』など「逃」を扱うストーリーがあちこちで見られます。かつてはネガティブな響きを持っていましたが、昨今の社会状況を反映してか、適切なタイミングで適切なルートを開く「賢慮」として、肯定的な意味合いが付与されつつあります。春の陽気なスタートダッシュ期間が過ぎ、さまざまな限界に直面しやすい5月の大学キャンパスにおいて、「逃」というのは学生さんにとって、業務の堆積に苦しみ教職員にとっても、脳裏をかすめるキーワードかもしれません。「逃」を「逃避」と言えば精神分析的なニュアンスも感じられ、さらに「撤退」と表現すれば政策や戦略といった社会的地平も見えてきます。堀田新五郎『撤退学宣言』を参照しつつ、逃げの効用について学問してみたいと思います。

「アイデアの系譜学」読書会とは…

「アイデアの歴史」(History of Ideas)という学問分野を参照しつつ発想の生成・循環・変容をテーマに「あれこれ喋る」、書籍持ち寄り型の会になります。前回からの継続参加、今回のみの単発参加の両方を歓迎します。

日吉の1~2年生だけでなく、三田の上級生、湘南藤沢や信濃町からの参加、時には高校生や教員たちの「往来がある」ことが本会の特徴です。当日、どんな流れになるかは、集まってみるまで主催者も分かりません。「創造的な混沌」を目指す場です!

逃げの一撃 撤退をめぐる思考と戦略

5月27日(水)

17:00~

18:00 (予定)

※途中入退室可

場所：日吉キャンパス
来往舎1階103/104
対象：塾生・教職員
(卒業生、高校生も
来場を歓迎します!)

★事前登録不要★

問い合わせ：

toiawase-lib@adst.keio.ac.jp